

坂城町らしい街並みや歴史的な特徴を活かし、人々が日常的に行き交う、地域に深く根差した施設を目指します。

01 案内図



02 敷地概要・建物概要

所在地 : 坂城町大字中之条字開畝2441-1他
都市計画 : 都市計画区域内（区域区分非設定）
用途地域 : 第1種中高層住居専用地域／第1種住居地域
敷地面積 : 6,776.56㎡
法定建蔽率 : 60%
法定容積率 : 200%
防火地域 : 指定なし（22条区域指定なし）
その他の地域 : 都市機能誘導区域

階数 : 1階
構造 : 鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造 木造
主要用途 : 老人福祉施設、子育て支援センター
延べ面積 : 2,917.52㎡
建築面積 : 3,172.82㎡

設計者 : 宮本忠長建築設計事務所
施工者 : 守谷・富士特定建設工事共同企業体

03 デザインコンセプト

- 外壁にはシンプルかつ存在感のある鉄筋コンクリートの壁を採用し、伝統的な小屋組みの温かみを融合させ、坂城町の歴史ある街並みと美しく調和するデザインとします。
- 打放し仕上の鉄筋コンクリート壁は、かつての城下町が持っていた防御の役割や歴史的な趣を現代のデザインに落とし込み、直線的でのびやかな造形を強調します。小屋組みの木造部分は、自然素材ならではの柔らかな質感と温もりをもたらし、住民や訪れる人々に安心感と快適な空間を提供します。
- 屋根形状は、宿場町のような景観を生み出すため、建物のボリュームを曲尺手に沿って分節配置し、それぞれに勾配屋根をかけます。また、夜間には木組みの陰影が際立つ、幻想的な雰囲気を演出します。



木造の小屋組みを活かした温もりある空間

04 目指す施設像《well-beingの実現空間》

「多様な人の居場所になる施設」

多世代で会話が生まれやすい交流の場を創出します。空間が広がる分節にはふと足を止めたくなる“たまり”をつくり、元気な人から悩みを抱える人まで多様な利用者が共存し誰もが自分に合う過ごし方ができるよう配慮します(well-being)。また、木材を使った設えとすることで自然のぬくもりを感じられる空間とし訪れる人々に落ち着きと癒しをもたらします。

「使いやすい施設」

物理的・心理的な障壁を感じさせず、誰もが快適に利用できるユニバーサル設計とします。エントランスは第一駐車場と同じ高さとし、段差のない動線とすることでスムーズな入館のできる計画とします。施設内も階段やEVに頼らないフラットな構成とすることで、すべての人がバリアを感じず自由に行き交い、のびのびと活動できる空間をつくります。

「分かりやすい施設」

シンプルで直感的なゾーニングとし、館内の要所にはアイストップとなる印象的な設えを施します。視覚的な誘導性を高め、訪れた人々の記憶に残る空間を演出します。木材を基調としたデザインが温かみを感じさせ、まるで坂木宿を歩いているかのようにさまざまな風景が次々と目に飛び込んでくる、そんな発見と楽しさに満ちたデザインとします。



宿場町を想起させる屋根形状と豊かな外部空間



※曲尺手（かねて）は、宿場町に見られる道を屈曲させた構造で、人の動きに変化を生み、店舗や民家が連なる賑わいと交流の場を形成しました。